

2014.9 vol.21
tag
たぐ

多賀城発で多賀城着。ヒト・コト・モノを届けます

「tag」は多賀城をもっとよいまちにしていきたい、社会や地域のために何か活動したいという方を応援する月刊フリーペーパーです。



多賀城の魅力がギュッとつままったスペース 陸前山王駅前にオープン

8月24日(日)にオープンしたコミュニティスペース&ガイドツアー「タガの柵」。
お茶を飲んだり、史跡・お店・人など多賀城の魅力を知ることができるスペースです。

多賀城にまつわるグッズも展示・販売しています。



多賀城の魅力を多くの人に知ってもらったり、住民の方が集まって何かを生み出す場にしていきたい。この旗を持って市内のガイドツアーも行います。

代表の松村正子さん



ふらっと立ち寄れば新しい出会いがあるかも!?



8月24日
オープン!

活動の詳細は
Facebook
にて!

f TAGANOKI
<https://www.facebook.com/TAGANOKI>
@TAGANOKI ツイッターもやっています!

コミュニティスペース&ガイドツアー
「タガの柵」

場所: JR 東北本線 陸前山王駅のすぐ前
時間: 午前10時~午後4時
定休日: 水曜(祝日の場合は翌日)
電話・FAX: 022-702-3277

ヒント from “たがさぽPress”
たがさぽのブログから地域づくりに役立つ記事をご紹介します

詳しくはブログへ <http://blog.canpan.info/tagasapo/>

● よそ者・若者がきっかけに 2014年8月21日(木)掲載
地元の人脈や経営のノウハウを持つ人々と、豊富なアイデアを持つよそ者・若者。2つの力が合わさって地域を盛り上げる!?

● 町内会が立ち上げたNPO 2014年8月14日(木)掲載
誰もが暮らしやすい地域をつくるために町内会がNPO法人を立ち上げました。住民たちでつくりあげた活動をご紹介します。

● おまつり巡り 2014夏 2014年8月11日(月)掲載
多賀城の各地区で行われた夏まつり。雨の多い夏でしたが、今年もたいへん盛り上がりました! その一部をご覧ください。

“たがさぽPress”とは?

たがさぽスタッフによるブログ。興味が湧いたらたがさぽPressへ! *ケータイ、スマホからもご覧いただけます。



たがさぽからのお知らせ
たがさぽが企画する「一歩ふみだすきっかけ」をご紹介します

多賀城を知りつくそう! 「たがさんぽ」

まちの中には、歴史、文化、人、場所、出来事があふれています。今回は下馬地区を歩き、まちの魅力をさがします。多賀城のことをもっと知りたい、もっと好きになりたいと考えている方のご参加をお待ちしています。

日にち	2014年10月16日(木)・18日(土)の全2回
時間	16日:午後7時~午後8時30分 / 18日:午後1時~午後5時
会場	多賀城市市民活動サポートセンター(2回目はまちを歩きます)
費用	500円
定員	15名(先着順/要事前申込)
申込	多賀城市市民活動サポートセンター窓口または電話にて
問合せ	022-368-7745

わたしたちが見つけた 多賀城の新常識!

壁新聞を
読んで
多賀城
通になる
キミも
なる!



市民活動体験記

新入部員
募集!

街を探検し、人と出会い、記事にしよう!
多賀城の新じょうしきを一緒に探しませんか?

たがさぼりニューアル記念プレイベント「多賀城かべ新聞ワークショップ」で編集者の藤本智士さんから取材や編集の基本を学び、見事壁新聞第1号が完成。その後、「せっかくだから、このまま活動を続けよう!」と参加者の有志7名が集まり、「たがじょうしき壁新聞部」が正式に発足。「たがじょうしき」多賀城の常識」を取材して発信しています。8月には第2号が発行され、市内各地に掲示されています。

部員が語る! 壁新聞で伝える多賀城の魅力

文部員 山田和佳子さん

社内報作成の経験から、ずっと記事書きをしたいと思いますので、「やっとやりたいことができる」という気持ちで参加しました。

壁新聞づくりをとおして、多賀城にはやりたいことを存分に楽しめる風土があるのでは?と思うほど楽しいコトをしているヒトがいることに気がつきました。その風土とコトとヒトが魅力だと思います。が、見えにくい土地柄があるので、壁新聞で魅力をお伝えしたいです。壁新聞づくりをはじめてよかったことは、新しい仲間に出

会えたことと、日常をつたえる目線で見ても新鮮に感じられるようになったことです。



多賀城っ子の聖地「ぞうさん公園」を楽しむ7か条や鶴ヶ谷の鉄職人など、ローカルなネタ掲載。

文部員 和久由紀恵さん

壁新聞づくりに参加したのは多賀城に足を運んでくれた友人に、自分の住んでいるまちの良いところや面白いところを紹介できるよくなりたいと思ったのがきっかけです。

多賀城には昔ながらのお店が多く、取材を通して店主のお店に対する想いや地域の人の繋がりなど、多賀城のそういう温かい人情味あふれる部分に触れることができ、ますますこのまちが好きになりました。取材先の方の思いが上手く伝わるよう記事を書くことに

はいつも頭を悩ませますが、これからも多賀城の中に見つけた「すてき」や「すき」を壁新聞という形でいるいるな方に知ってもらえるよう、活動に参加していきたいと思っています。

多賀城にはまだまだ埋もれている地域の宝がたくさんあります。行き当たりばったり、ミラクルな出会いを大切にしつつ、現場重視の取材スタイルで宝を見つけ出します。これから新入部員も加わり、ますますおもしろくなりそうですね「たがじょうしき壁新聞部」大注目です。11月には第3号を発行します。まちなかで部員の体当たり取材を目撃したら応援よろしくお願いします。



お店を取材中。取材を通していろんな人と仲良くなれるのも魅力のひとつ。

「たがじょうしき壁新聞」配架場所や活動について
blog : <https://kacco.kahoku.co.jp/author/tagajyoshiki>
Facebook : <https://ja-jp.facebook.com/tagajyoshiki>

部費 : 1回の発行につき500円 / 発行: 年4回
活動拠点 : 多賀城市市民活動サポートセンター
電話 : 022-368-7745 (市民活動サポートセンター)
E-mail : tagajyoshiki@gmail.com



「tag」には、多賀城 (tagajo) の頭3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ (価値) をつける、という意味が込められています。



「たがさぼ」ではツイッターもやっています。フォローお願いします!
@tagasapo



「たがさぼ」ホームページはこちら
<http://www.tagasapo.org/>